

学 界 消 息

1. 名瀬にレーダー

名瀬の気象用レーダーは8月28日完成し、9月1日から運用されるようになった。レーダー機器は東芝製で、PPI スコープ、A スコープ、R スコープを備えている。

2. 宗谷南極に向う

宗谷は10月31日南極に向って4度目の壮途をついた。

3. WMO の放射能会議

WMO では国連放射能科学委員会とWMO原子力平和利用専門家部会の要請により、明年1月ニューヨークで「核実験による放射能灰の大気中輸送と除去」に関する会議を開催する。WMO は、気象研究所の三宅博士ほか、ボリン（スウェーデン）、ブリーカー（オランダ）など7氏に招請状を送っている。

4. 和達理事ラングーンに

和達気象庁長官は11月3日から11月16日までの19日間ビルマ国ラングーン市で開かれた「世界気象機関第2地区第2回会議」に政府代表として出席された。

5. 台風第19号鳥島を襲う

台風第19号は10月21日夕刻鳥島を襲ひ、鳥島測候所では倉庫が吹き飛ばされ、旧庁舎も大損害を受けた。月夜山山頂（海拔 260m）の風速計は16時40分から18時40分までの間、62m/s（計器の記録限度）以上の南ないし西の風を記録した。

理 事 会 便 り

第18回常任理事会議事録

日時 昭和34年10月3日（土）0930~1400
場所 神田学士会館
出席者 伊東・正野・吉武・今井・村上・根本・岸保・神山・畠山・各理事（順序不同）

決 議

- 1 全国理事会を11月6日福岡で開くこととなった。

- 2 10月の例会は名古屋の15号台風の被害に鑑み東京に変更することとなった。

- 3 気象庁長官あて Date Center の設立方を要請することとなった。

- 4 講演企画委員会の案に基き大会の座長をお願いすることとなった。

気 象 の 英 語 (8)

10. force と forces, wind と winds

英語では、抽象名詞でも物質名詞でも数えられるものなら何でも、その名詞は複数にすることができる。たとえば **force** (力) は抽象名詞だが、Coriolis force (コリオリの力) も、centrifugal force (遠心力) もそれぞれ一つのみだから、これらを一緒にすれば Coriolis and centrifugal forces となる。『抽象名詞、物質名詞は複数にしない』という文法法則は誤解を招く言い方で、これは Coriolis forces とはしないという意味である。

数えあげることができるものは複数にできるが、注意しなければならないのは、複数にすると意味が変わるものがあることである。たとえば、**forces** は軍隊、部隊という意味になる。Air Forces は空軍であって、空気力ではない。したがって、力の複数のつもりで、うっかり forces は使えない。こういう例をあげると、**airs**=気取り、**waters**=海、湖；**grounds**=庭園、**circumstances**=境遇、**contents**=目次、**damages**=損害賠償(金)

有 住 直 介

など。

wind (風) などでは、上のような心配はないからさかんに複数にする。どういう場合に単数にし、どういう場合に複数にするかという点、一概には云えないが、原則としては、抽象的に風を考える時は単数にし、観測される風、経験される風を考える時は複数にする。観測される風は、あそこの風、何時の風というように数えあげることができるからである。wind charts などのように形容詞的に使うときはもちろん単数である。つぎの例をごらん下さい。

As the cold front and roll cloud approach and the cloud draws near, the wind may come out suddenly in a hard squall; a decided change in temperature is sure to follow. (I. R. Tannehill)

.....there is some variation in the direction and force of the winds from day to night. (I. R. Tannehill)